

あがの 市議会だより

第51号

令和4年
3月定例会号
令和4年3月31日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(11人)	P5-7
新年度予算・次回定例会の予定ほか	P8



市内のいちご農家のハウスで越後姫が収穫期を迎えています。阿賀野市では5軒の農家が集まって阿賀野市いちご倶楽部として活動しており、出荷が始まると月に2回糖度の確認を行うなど、品質の安定を図っています。
阿賀野市産の越後姫はスーパーや直売所などで購入できるほか、摘み取り体験を楽しめる農園もあります。

2月16日に
臨時会が開かれました

3月定例会が
3月3日～18日の
会期で開かれました

- 3月3日 本会議**
 ■施政方針・一般行政報告
 ■議案の提案説明
 ■一般質問1日目(3人が質問)
- 3月4日 本会議**
 ■一般質問2日目(6人が質問)
- 3月7日 本会議**
 ■一般質問3日目(2人が質問)
- 3月8～10日 各常任委員会**
 ■委員会に付託された議案を審査
- 3月14～16日
予算審査特別委員会**
 ■令和4年度各会計予算を審査
- 18日 本会議**
 ■各委員会の審査報告のあと討論を経て採決
 ※議決結果は2ページ

議案ピックアップ

議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。

令和4年度当初予算・7つの政策の柱における主な事業

1 安全・安心な暮らしの実現

- スマートフォン普及促進事業 **新規**
高齢者のスマートフォン購入費用を助成し、市の安全安心メールなどの登録を促すことで緊急時の速やかな情報伝達体制を強化します。
- 特定不妊・不育症治療費助成事業 **継続**
不妊治療の公的医療保険の適用後も自己負担分と保険対象外治療を一部助成し、これまでと同等の支援をします。

3 高齢者や障がい者福祉の充実

- 後期高齢者医療保険料・介護保険料キャッシュレス事業 **拡大**
コンビニエンスストアでの納付やスマホアプリなどによるキャッシュレス納付を導入します。
- 熱中症対策エアコン購入費助成事業 **新規**
家庭にエアコンがない低所得の高齢者世帯や障がい者等の世帯を対象に、エアコンの購入・設置費用を一部助成します。

6 市民協働の推進

- 地域活性化プロジェクト事業 **新規**
新潟日報社の地域活性化プロジェクト「未来のチカラ」と連携して、市の魅力を市内外に発信します。
- ふるさと納税促進対策事業 **拡大**
市の魅力を全国の方から認知してもらうため、ポータルサイトの充実により寄附金募集の強化を図り、寄附金総額3億5千万円を目指します。

2 子どもの育成支援の充実

- 道の駅・子育て世帯が集う広場の整備 **新規**
令和4年度開駅予定の「道の駅あがの」に室内遊具、隣接する広場に大型遊具などを整備し、市内外の子育て世帯が集う賑わいの場をつくります。
- 市立図書館パワーアップ事業 **拡大**
児童図書の実験や読み聞かせスペース、授乳室の整備を行い、子育て世帯をはじめとした人々が訪れる特色ある図書館を整備します。

4 地域経済の活性化

- データを活用した農業経営支援事業 **新規**
市の公式LINEに新たなカテゴリー「農業」を設け、農業者に必要な情報を発信します。
- 道の駅整備事業 **新規**
「道の駅あがの」を情報発信の拠点施設とし、市の観光PRを行います。また、市内産農産物や加工施設による商品の開発、販売を行います。

5 生活に密着した住環境整備の促進

- 環境保全啓発事業 **拡大**
脱炭素化などSDGsに掲げる目標を達成するため、環境基本計画および地球温暖化対策実行計画を改定し、当市の具体的な取組を実行します。
- 道路消雪施設整備事業 **継続**
機械除雪が困難な住宅連担地域に消雪パイプを計画的に整備します。

7 信頼される行政経営

- 行政手続オンライン化推進事業 **新規**
申請書などにより窓口で行っていた行政手続をスマートフォンやパソコンを使いオンライン申請できるよう環境を整備します。
- 移住・定住促進事業 **拡大**
市の魅力を発信するPRポスターや移住・定住パンフレットを作成します。関係人口を増やすため、リズム・ハウス瓢湖にワーキングスペースを整備します。



議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。2月16日の臨時会と3月定例会で審議した議案の中から一部内容をお知らせします。

議案ピックアップ

2月16日臨時会

阿賀野市過疎地域持続的発展特別事業基金条例の制定

過疎地域の持続的発展、活性化のための施策の費用に充てる基金を設けるための条例制定。

一般会計補正予算(第11号)

主な内容

■過疎地域持続的発展特別事業基金積立金 3,500万円

笹神地域の過疎地域指定に伴い、子育て環境確保などにおける今後の財源とするための積立金。

■ひとり親家庭等新生活応援特別給付金 700万円

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ひとり親家庭などに進学や就職など新生活の準備金として、15歳・18歳の子ども1人当たり10万円を給付します。

■プレミアム商品券発行事業費補助金 1億7,000万円

原油価格の高騰などの影響を受けている市民の経済的負担の軽減と、地域経済の早期回復のため、プレミアム商品券を発行します。



3月定例会

阿賀野市宿泊施設リズム・ハウス瓢湖の設置及び管理に関する条例の一部改正

テレワーク利用のための使用料(500円/日)を新たに設定し、浴場使用料の割引を廃止します。

阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員が出勤・警戒に従事する際の費用弁償額を1回3,000円から4,000円に引き上げます。

一般会計補正予算(第12号)

主な内容

■保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 769万2千円

新型コロナウイルス感染症の対応等、最前線において働く保育士や幼稚園教諭、児童クラブ支援員等の処遇改善のための補助金。

ロシアによるウクライナ侵攻についての決議

3月4日に山口功位議員、風間輝榮議員、大滝勝議員から発議され、全会一致で可決しました。この決議は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、国際法に基づく誠意を持った対応を求めるものです。

2月臨時会・3月定例会の議決結果をお知らせします

※ 省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 予算：予算審査特別委員会
各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

2月16日臨時会

全会一致で議決した議案等

議案名				審査した委員会※	議決結果	議案名				審査した委員会※	議決結果
専決	一般会計補正予算(第10号)	令和3年12月24日専決	省略	承認	条例	阿賀野市過疎地域持続的発展特別事業基金条例の制定について	省略	可決			
予補算正	一般会計補正予算(第11号)		省略	可決							

3月定例会

全会一致で議決した議案等

議案名				審査した委員会※	議決結果	議案名				審査した委員会※	議決結果
人事	阿賀野市教育委員会教育長の任命について(神田武司氏)		省略	同意	条例	阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決			
	阿賀野市教育委員会委員の任命について(渡邊栄二氏)		省略	同意		阿賀野市道路占用料徴収条例の一部改正について	産建	可決			
	阿賀野市固定資産評価審査委員会委員の選任について(須田幸英氏、長谷川香一氏、片桐正英氏)		省略	同意		阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総文	可決			
令和3年度補正予算	一般会計補正予算(第12号)、国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第3号)、少年自然の家特別会計補正予算(第2号)、水道事業会計補正予算(第2号)、下水道事業会計補正予算(第3号)、病院事業会計補正予算(第2号)		省略	可決	その他	工事請負契約の変更について(「道の駅(仮称)あが」建築工事)	産建	可決			
当初4年度算	国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、押切外四ヶ大字財産区特別会計予算、少年自然の家特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算、病院事業会計予算	予算	可決	工事請負契約の変更について(水原小学校大規模改造工事(建築))		総文	可決				
				市道路線の廃止について		産建	可決				
				市道路線の変更について		産建	可決				
正年度補算4	一般会計補正予算(第1号)		省略	可決	市道路線の認定について	産建	可決				
条例	阿賀野市印鑑条例の一部を改正する条例の一部改正について		社厚	可決	発議	ロシアによるウクライナ侵攻についての決議	省略	可決			
	阿賀野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		総文	可決							

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(市川英敏)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党				新風あがの						会派の所属なし				
			村上清彦	宮脇雅夫	岡部直史	松崎良繼	山口功位	風間輝榮	大滝勝	百都順也	加藤博幸	遠藤孝	荒澤浩和	遠藤智子	近山修	清野栄一	天野市榮	
令和4年度当初予算	一般会計予算	予算 可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
討論要旨	反対意見	コロナ感染防止のための予算が足りない。当市の感染者数は他の市より多く突出している。検査体制を強化すべきなのに、学校現場は感染防止対策が不十分。市のデジタル関連予算1億2千万円も問題だ。個人情報保護の保証がない。民間委託で個人情報漏洩が心配だ。																
	賛成意見	新年度予算については色々な考え方があるが、新型コロナワクチン3回目接種に全力を挙げており、4月からスムーズな予算執行を行うため、また、市民の命と暮らしを守り、生活に影響が出ないようにするため、予算について賛成する。																
条例	阿賀野市宿泊施設リズム・ハウス瓢湖の設置及び管理に関する条例の一部改正について	産建 可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	討論要旨	反対意見	赤字だからと入浴料金を250円から倍の500円に引き上げることは納得できない。あかまつ荘の高齢者入浴料金は300円、京和荘は年齢にかかわらず300円となっている。高齢者の割引は施設の発足時に根拠があって決めたもので、施設利用者への説明不足だ。															
請願	賛成意見	自由討議でも申し上げたが、「費用対効果、代替案なければそれに取りかかる」と述べられており、今後もポイントカードを用意し運営を続けるとしている。応分の負担が必要という声も市民にある。このことから本議案に賛成する。																
	「最低賃金の改善と地域経済の回復を求める意見書」の採択を求める請願	産建 不採択	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和4年2月9日に所管事務調査を行いました

デジタル・トランスフォーメーション推進事業の進捗状況について

市ではデジタル化を着実に進めるため、基本的な考え方や方針を定めた「阿賀野市デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の基本計画を昨年9月に策定し、取組を進めているところです。

そこで、当委員会では令和3年度のデジタル化推進に向けた取組状況と、現在作成中の「阿賀野市デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の実施計画に記載する今後の基本的な取組状況などを、以下のとおり確認しました。

デジタル・トランスフォーメーション(DX)とは

デジタル技術により既存の枠組みの変革をもたらす、生活をより良い方向に変化させることを意味します。デジタル化は「デジタルイノベーション」と「デジタルイノベーション」の大きく2つに分類され、「デジタルイノベーション」は、アナログ形式の情報をデジタル形式に変えること(ペーパーレス化など)で、デジタル化そのものを目的とした取組を指します。一方「デジタルイノベーション」は、デジタル化を手段としてイノベーションを創出する観点で使われる言葉であり、その考え方が近年重要視されています。

計画策定の背景

- ① 情報通信技術(ICT)の急速な発展
 - ② 人口減少や少子高齢化などの社会情勢の変化
 - ③ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
 - ④ 直近の国・県の動向
- デジタル庁の創設

- ・総務省による「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」策定
- ・新潟県「デジタル改革実行本部」において「デジタル改革の実行方針」を決定
- ⑤ 阿賀野市総合計画(後期基本計画)の策定

まちづくりの目標である「元気で明るく活力のある魅力的なまち」の達成に向けた施策の重点化にあたり、基本的な考え方の一つに「デジタル化の推進」が掲げられています。

計画の位置付け

デジタル化推進の分野において「阿賀野市総合計画」を支える役割を担う個別分野計画として「官民データ活用推進基本法」において、市町村の努力義務となつている「市町村官民データ活用推進計画」として

計画の構成

市の基本的な考え方や方向性を整理した「基本計画」編と、具体的な取組を事業ベースに取りまとめ整理した「実施計画」編により構成されています。

計画の基本方針

- 「デジタル技術の活用により、市民一人ひとりがいきいきと安心して暮らせるまち」を目指す姿として、以下の3つを基本方針としています。
- ① 暮らしの利便性の向上
 - ② 行政運営の効率化
 - ③ 社会課題の解決、新たな価値の創出に向けたデジタル技術の活用

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)
消防救急業務の現状について



デジタル化推進に向けた取組状況を調査

デジタル化推進に向けた当面の事業予定

- ・基幹システムの整備(国補助金活用予定)
- ・オンライン申請の推進
- ・ICTを活用した行政窓口サービスの充実
- ・AI、RPA等を活用した業務改善の研究および検討
- ・セキュリティ対策の徹底
- ・デジタルデバイス対策の推進(スマートフォン購入助成制度の導入)など

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは下記について質疑がありました。

- ・RPA導入の費用対効果について
- ・デジタル化に係る国からの交付金補助金について
- ・デジタル化推進に係る今後の職員体制について
- ・マイナンバーカードの交付率について
- ・シニア向けスマホ教室の実施予定について
- ・情報セキュリティ対策について

これらを踏まえ、デジタル化推進にあたっては高齢者も取り残されることなく、情報セキュリティ対策を徹底しながら利便性の向上を図り、市民がマイナンバーカードを安心して取得できるよう環境整備が求められると意見集約されました。

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和4年2月1日に所管事務調査を行いました

吉田東伍記念博物館の現状について

吉田東伍記念博物館は、わが国初の全国地誌「大日本地名辞書」の著者、吉田東伍を記念してその生誕地である旧安田町に平成9年に設置されました。

施設の概要

開館時間	午前9時30分から午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日	原則は毎週月曜日と年末年始や祝日の翌日等
入館料	一般300円、小中学生150円 (20人以上の団体はそれぞれ50円引き)
人員体制	行政専門員1名とシルバー人材センターからの派遣または会計年度任用職員1名

現在の課題

来館者の減少 令和2年度と今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により企画展が中止となり、来館者数が例年の半分以上で落ち込んでいます。小規模な企画展の検討も感染の急拡大により十分できていません。また、団体での来館もほとんどない状況です。

施設の老朽化

開館から25年近くが経ち、各種設備の更新時期を迎えています。消火設備と空調関係を令和2年度から令和4年度までの年次計画で更新しています。他の不具合箇所は緊急や予算等を勘案しながら計画的に改善していくこととです。

事業の実績

企画展をはじめとする博物館独自の事業や吉田東伍記念博物館友の会共催事業など、年間を通じて各種事業が実施されています。友の会は館の運営やボランティア活動にも携わっています。しかし、令和2年度以降はコロナ禍によりほとんどの事業が中止されました。

懸案事項

常設展示の展示替えが懸案事項となっています。開館時に市民や有識者等の意見を集約して策定した展示計画に基づいた完成度が高い展示ですが、現在は展示替えに備え、寄託品などの確認を進めているとのこととです。

質疑および意見

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況もありますが、委員からは、アフターコロナを見据えた事業内容の検討、興味を持つてもらえるようなチラシの作成等宣伝方法の工夫、来館できない人にも所蔵品を見ていただけるデジタル化の仕組みの構築、広報あがのでの人物紹介、担当職員の後継者育成などについて意見が出されました。日本歴史地理学のパイオニアと呼ばれる吉田東伍の業績を今後も市内外に発信してより一層の知名度アップを図り、多くの方に来館していただける博物館となるような取組を望みます。

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)
国民健康保険及び後期高齢者医療の現状と今後の見通しについて



吉田東伍生家の大広間。コンサートなどのイベントでは最大で200人ほど入ることができる。



担当職員から説明を受ける委員

産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和4年1月20日に所管事務調査を行いました

国土調査事業の進捗状況について

国土調査(地籍調査)の概要

国土調査法に基づき、市町村が主体となつて一筆ごとに土地の所有者、地番、地目の調査を行い境界の位置、面積について測量し、成果の閲覧、確認を経て登記所で土地登記簿、地籍図が更新されます。

国土調査を行うことにより、土地取引や災害復旧、行政事務執行の円滑化に役立つことが期待されています。

調査の費用負担については、国が50%、県と市がそれぞれ25%負担となっていますが、特別交付税として80%が交付されるため、市の実質負担は5%となります。なお、東日本大震災以降、国からの予算配分は、地籍調査の重大性がより高まり、調査実施要望が増加しているため、今年度は約73%の充当率になっています。

新潟県内の実施状況

令和2年度末時点、全国の進捗率は52%、新潟県は35.1%、阿賀野市は64.9%で県内30市町村のうち8番目に位置しています。なお、現在すべての全房地籍調査が完了している市町村は、胎内市、聖籠町、津南町で、未実施および休止が7市町村となっています。

阿賀野市の地区別進捗状況

安田地区35.86kmは昭和44年

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)
大室浄水場について

から昭和54年にかけて実施完了済み、京ヶ瀬地区24.77kmは昭和44年から昭和55年にかけて実施完了済み、笹神地区32.04kmは昭和53年から平成24年にかけて実施し、進捗率が約56%ですが、山地部分を除いた部分は、概ね完了しています。

水原地区は、平成17年から調査を開始し現在市街地を中心に実施していますが、家屋が密集している割合が高いうえ、一筆ごとの土地が細かく、また小さな土地が数多く存在し、土地所有者数も多いため、他地区と比較し調査の進みが遅く、令和3年度末までの進捗率として8.83km、23%を見込んでいます。

また、調査は概ね1区画1,000筆程度あるため、毎年1,000筆前後を順次調査している状況です。今年度は39計画区の学校町・岡山町、40計画区の稲荷町・若葉町、41計画区の緑町・百津町、42計画区の百津町・学校町を実施しており、来年度は43計画区の金田町を調査開始となるよう準備が進められています。

なお、宅地開発による住宅街イコール調査が簡単ということではなく、土地によっては複雑な事情を有することもあり、調査数を増やすことが難しい状況が発生する場合があります。しかし、街づくりに必要な調査であることから、まずは水原地区



委員会意見

国土調査事業は、問題が無くても、最終的に登記所提出までに5年を要するという、加えてシングルな事業であるが、課題は市街地だけでなく農村部にもあり、農村部の調査にも着手できるように必要な予算を確保しながら、水原地区市街地の調査完了に向けて、引続きの取り組みを願うものです。

予算審査特別委員会

令和4年度一般会計ほか8会計の予算について、議長を除く全議員で構成される予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり慎重審査を行いました。委員会での質疑から一部を掲載します。

地域おこし協力隊推進事業費

930万2千円

募集人数2名の理由は、

令和3年度は2名募集し、3月17日に1名が着任。移住定住や道の駅あがののコンシェルジュとして対応にあたっていた。その状況を見ながら追加募集などを考えていきたい。

保育士等処遇改善臨時特例事業費

2,525万9千円

どれだけ処遇改善に効果が出るのか。
給与の3%、9,000円程度上げていくという国の事業。今回は全額国の負担で4.9月分を計上。10月からは国、県と市各々の負担割合で対応する。

有害鳥獣被害対策事業費

552万2千円

鳥獣被害は年々深刻になってきており、対策に本格的に取り組む集落が増えてきている。今までの変わらないような取組助成の内容では不十分と思う。

瓢湖水きん公園施設改修工事費

1,940万円

具体的にどのような改修をするのか。
瓢湖の浮島の改修、あやめ園の木橋架け替え、東新池の木橋架け替えを計画している。

緊急告知FMラジオ放送システム管理業務委託料

26万4千円

FMラジオの配置状況はどうか。
当初、土砂災害警戒区域にある自治会の全世帯とそれ以外の各自治会へ2、3台を配置した。土砂災害警戒区域への防災行政無線の戸別受信機の配備を進めており、戸別受信機を設置した世帯からは設置と同時にFMラジオを回収している。

小中学校ICT支援員業務委託料

528万円

支援員はトータルで何人か。業務内容は何か。
令和4年度は小中学校合わせて市全体で1名を考えている。業務内容は、授業計画の提案やマニュアルの作成、操作の補助、校内研修等多岐に渡る。保守点検を行う業者もサポートしている。状況を見て増員も考える。

市長への総括質疑

人口減少対策事業として、道の駅、図書館整備などの項目があるが、直接的にどれが役立つのかよくわからない。出生数を上げる施策がないように思うがどうか。出産祝い金等の発想を持ってもらいたい。

人口減少問題は国を挙げての長年の課題。まずは定住を促進していく、そのために地域の魅力を上げていくという思いで道の駅の整備などを行っている。根が深い課題であり、出産祝い金だけで解決できるような案件

各会計の予算額等は8ページ

阿賀野市の標準財政規模が約130億円。その20%の26億円を財政調整基金として積んでおきたいと考える。いつ大きな災害が起きるかわからない時代に、市民の不安をなくしていきたいという思い。これからも財政運営を堅持しながら取り組みたい。

市長への総括質疑

人口減少対策事業として、道の駅、図書館整備などの項目があるが、直接的にどれが役立つのかよくわからない。出生数を上げる施策がないように思うがどうか。出産祝い金等の発想を持ってもらいたい。

各会計の予算額等は8ページ

阿賀野市の標準財政規模が約130億円。その20%の26億円を財政調整基金として積んでおきたいと考える。いつ大きな災害が起きるかわからない時代に、市民の不安をなくしていきたいという思い。これからも財政運営を堅持しながら取り組みたい。

市長への総括質疑

人口減少問題は国を挙げての長年の課題。まずは定住を促進していく、そのために地域の魅力を上げていくという思いで道の駅の整備などを行っている。根が深い課題であり、出産祝い金だけで解決できるような案件



予算審査特別委員会の様子



新風あがの
加藤 博幸

令和4年度予算・事業執行方針は

質問 効率的効果的な事業執行の考えを伺う。

答弁 全ての取組について成果重視の視点評価と見直しを行うことで効率的な財源配分となるよう努める。

質問 ポストコロナを踏まえた重点的取組を伺う。

答弁 人口減少対策、デジタル化の推進、防災・減災対策の3点に集中的に予算配分。

妊産婦医療費や子ども医療費、不妊治療費への助成など、子育て世帯の負担軽減の他、全ての市民がデジタル技術による利便



日本共産党
岡部 直史

コロナワクチン接種について

質問 新型コロナワクチンの阿賀野市への供給計画について。また、接種を早めるための措置は検討しているか。

答弁 妊産婦と12歳未満児への接種についての計画は。

当市へのワクチン供給については、ファイザー社製、モデルナ社製あわせて3万1千回分は3月末までに入荷予定。4月以降も順次国から配分が予定されている。

前倒し接種を進めるため、新潟大学から医師派遣の協力を得て、3月15日から笹神体育館で

性が享受できる環境づくりを進める。
意見 既存の基礎的取組の充実も大切であるが、将来に向けての具体的取組が示されていっていないのでは。

新型コロナウイルス感染症対応の課題と今後の進め方は

質問 ワクチン接種の状況を伺う。

答弁 国のワクチン供給が明らかにならない中、接種前倒しの方針も出され対応に苦慮も、市内クリニック、新潟大学病院の理解と協力もあり、ワクチン接種体制の構築が図れた。

早くに3回目の接種を進めることが感染拡大防止につながる。モデルナ社製のワクチン接種の希望もあり、65歳以上は3月中旬に、12歳以上は5月中旬に、5歳

平日6000人規模の接種を予定している。

妊産婦への接種については、子育て世代包括支援センターで相談・対応している。希望する12歳未満の子どもの接種は、やまぎ小児科、あがの市民病院小児科で5歳から11歳の接種をする予定。



PCR検査の拡充とあがの市民病院の検査体制は

質問 無症状者への検査を進める計画は。民間調剤薬局での無料検査の拡充について。

答弁 民間調剤薬局での無料検査は県が行っているもので、拡充は考えていない。市としては

11歳は7月中旬に接種完了をめざす。

質問 陽性者、濃厚接触者への対応を伺う。

答弁 県からの情報提供が陽性者数のみとなり、濃厚接触者への対応も陽性者本人が告知することになった。市では自宅療養者を把握できないことから、県による食料支援はホームページ等により周知。

質問 休校等による給食食材、授業の進め方を伺う。

答弁 可能なものはキャンセルあるいは次回用に保存など、無駄にならないように適切に対応している。授業は、これまで5教科ほどオンラインで対応。
意見 丁寧な情報提供と情報発信を心掛けることを願う。



新たに年齢にかかわらずなく、PCR検査料を全額補助する制度を4月から予定している。

あがの市民病院の対応については、熱などの症状がある場合、医師の判断によりPCR検査を受けることができる。結果は翌日となるが、抗原定性検査は30分程度で結果が出る。無症状の人が検査を希望する場合、1万5千円の実費で受けることができる。

側溝清掃支援事業について

質問 自治会の側溝清掃を業者に委託の場合、市の助成額(上限3万円)の見直しを。

答弁 自治会がまとまって、できる範囲で協力して作業することが自治会コミュニティ維持にもつながり、現行維持の支援を考えている。



無党派
清野 栄一

加速する少子化への対応

質問 少子化の進行が極めて危機的である。朝日新聞は、2021年の日本人の出生数推計は80万5千人、2016年に100万人を切ったからわずか5年で80万人を割り込む可能性もあり1997年に120万人を切ったから20万人減るまでに19年かかったが、この急減の重大性を見逃すべきではないと報道。

本市の1月31日現在の1年間の出生192人(水原84人、京ヶ瀬52人、安田28人、笹神28人)、1月31日の住民登録数は10歳335人、最多は7才826人。



日本共産党
宮脇 雅夫

宝珠温泉あかまつ荘の存続を

質問 昨年11月、市は宝珠温泉あかまつ荘および安田農村環境改善センターの来年度の指定管理者の応募者がなかった、利用者が減少、市には他の温泉施設もある、今後、維持改修費が多くなるなどの理由で、令和3年度をもって休館し貸館や民間譲渡する方針。あかまつ荘は営利目的の施設でなく、「市民の心身の健全な保養を図り、福祉の増進」のための、まさに自治体の本来の任務の施設。コロナ禍でも、令和元年度7万人、2年度4万4千人の利用者があった。

また、内閣府は2月7日、25歳以下の非正規雇用の高まりで所得格差が拡大、結婚や子どもを持つという選択が難しくなっていると指摘。日本総研なども出生数の減少を抑制するには出生祝い金などの思い切った経済的支援が必要と提言している。そこで祝い金などの経済的支援に取り組みむべきと思うが所見を伺う。

祝い金は考えていない。

路線バス水原・新潟線の確保等について

質問 一昨年12便が削減され、この3月にも3便の削減、年々不便なダイヤになってきている。運行事業者との支援協議が成立し、全廃は免れたが、今後の運行維持確保の取組。

答弁 企業努力を最優先した上で限界になれば支援もある。

民間ではできない安さの一つの魅力であり、特にお年寄りから大変喜ばれている。他の自治体も多額の指定管理料を払って温泉施設を維持している。困難があっても知恵を出して存続すべき。



宝珠温泉保養センターあかまつ荘

質問 企業努力を最優先させるよりも減便になる可能性が高い。減便が進まないよう、市長は運行事業者トップと意思の疎通を図るべき。

下水道事業について

質問 約600億円もの巨費を投じた本市の下水道事業。人口減少、接続率低迷、過大設備、多額の企業債残高、自立経営は可能なのか。(整備率20市中2位、接続率17位。4年度の収入見込み4億7千4百万円。)

答弁 高齢化や空き家が多くなつて厳しいが、接続率の向上に努める。



城内公園と周辺施設整備で魅力的な公園に

質問 城内公園は、安田の中心部にあり、市民と子どもたちにとつて大事な公園。しかし、ブランコは外され、シーソーも壊れたまま、交通公園としての信号機等がさびついて放置されている。堀は草ボウボウ、樹木が多く暗くて怖い等々で、利用者が多く減少している。今後、整備を進めるとともに旧安田公民館を取り壊し、子どものための施設を建設したらどうか。

答弁 現在、遊具の改修、堀の浚渫と樹木の伐採を行っており、今後、遊具の改修、樹木の剪定や除草を行う計画。公園を含めた城内周辺の一体的整備が有効だが、県指定史跡や埋蔵文化財包蔵地であるので制限されることが見込まれる。有効な活用について議論を深めていく。



新風あがの
風間 輝榮

新型コロナウイルスワクチン接種について

質問 新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大により「第6波」に襲われている。特性をどのように考えているのか。

答弁 オミクロン株の伝播性はデルタ株よりも高く、全国的に爆発的な感染拡大の様相を呈した。2回目接種から8か月経過し、予防効果が低下したこと、未接種の子どもが感染し、学校や保育園でクラスターが発生したことが大きな要因。

質問 ワクチンの予約状況について伺う。

答弁 予約率は91%。5月中旬に

終わる予定。
質問 自宅療養者の支援について伺う。

答弁 県の公表以上の情報がなく、自宅療養者を把握できない。

質問 5歳から11歳の小児接種について。

答弁 3月5日からやまぎき小児科、4月4日からあがの市民病院小児科で接種開始予定。

質問 新たな変異株の対策について伺う。

答弁 これまでどおり、手洗い、消毒、3密回避、マスク着用の徹底、未接種の方には接種していただくことが重要。



布製マスク申請について

質問 当市が厚生労働省に申請した通称アペノマスクの枚数と確定した枚数は。

細な予定日は一体整備を行っている国と調整中のため、決定次第に報告する。

質問 夏頃のオープンとの答弁では、指定管理者や協力農家等の出荷組合の準備も調整ができないので、もっと具体的なオープン予定日を伺う。

答弁 8月頃のオープンで進めている。

質問 公園・多目的広場に導入する主な設備を伺う。

答弁 普段は子どもたちが走り回れるように芝生広場として整備する。広場には散策にも利用できる園路や遊具の設置を予定している。遊具についてはプロポーザル方式で受注者と契約し、夏までに設置する予定である。

質問 具体的な遊具の内容は。

答弁 1歳〜3歳用の遊具や、室内用の遊具を受注者に指示している。

道の駅について

質問 オープン予定日を伺う。

答弁 夏頃のオープン予定、詳

答弁 災害備蓄用に3万枚、希望する市民への配布用に2万枚を申請。現在、厚生労働省において集計作業中であり、確定次第、活用について検討を行っている。

生活困窮者自立支援事業について

質問 当市の相談、支援などどのようなものになっているか。

答弁 収入等が減少したことによる相談が主であり、対応としては貸付支援を行っている。

制度資金貸付事業について

質問 当市の現状と支援策はどうか。

答弁 国による実質無利子・無担保融資の借り入れがほとんど。市では信用保証料の補給による支援を実施したい。

学校でのタブレット活用について

質問 モバイルWi-Fiルーターの貸し出し状況を伺う。

答弁 2月からWi-Fi環境が無い家庭を対象に貸し出しを開始したところで、貸し出し対象数75世帯のところ、2月18日時点で17世帯に貸し出した。

質問 貸し出し期間を伺う。

答弁 貸し出し日から3月末までの期限である。

質問 児童が複数いる世帯への貸し出し台数を伺う。

答弁 1世帯に1台の貸し出し。



日本共産党
松崎 良繼

コロナ禍対策を問う

質問 プレミアム商品券は一定の効果も上げてきたが、低所得者にももれなく行き渡り、確実に地域業者への消費拡大につながる全市民4千円から5千円の商品券配布に改善を。

答弁 灯油助成など低所得者支援を実施しており、全市民への商品券配布は考えていない。

質問 手持ち資金に余裕のない人には利用が難しい、今後検討を。灯油代は更に値上がりしている、追加助成をすべきでは。

答弁 今後必要な状況になれば検討するが、今は考えていない。

質問 時短要請協力金の対象に

ならない事業者への支援金実施を。
答弁 現時点では実施する予定はないが、今後も社会情勢や市内経済情勢を見極めながら必要な対策を講じる。

転作交付金見直しへの考えを問う

質問 今後5年間一度も水稲の作付をしない農地を交付金対象から外すなどに農家や農業団体からは「2階に上げて梯を外すもの」という声が上がっている。市長の見解を伺う。

答弁 過去5年以上水稲作付されていない水田面積は268畧ある。コロナ変わる農政に、農家、地域が翻弄されていると実感している。

プラ被膜肥料対策を

質問 プラスチック被膜肥料の



新風あがの
百都 順也

放課後児童クラブと放課後子供教室の運営について

質問 保育施設に預けていた子の小学校入学に伴い、子育てと仕事の両立が難しくなる、いわゆる「小1の壁」という社会課題が生まれ、これを打破するために国も放課後児童対策を推進してきた。放課後の子どもたちの過ごし方を充実させる環境づくりは今後さらに重要課題となる。当市における放課後児童クラブ及び放課後子供教室の運営状況と今後の課題について、当市の見解を伺う。

答弁 放課後児童クラブは指定

穀が海洋プラスチック汚染の発生源として問題になっている。環境に優しい被覆肥料使用に助成を求める声があるが。
答弁 現段階では助成は時期尚早、圃場外に流れ出さない対策を農家に呼びかける。

公共施設にアンカー設置を

質問 雪下ろし作業安全用命綱アンカー設置促進のためにも、公共施設屋根への設置を率先して行うべきと思うが。

答弁 対象施設の絞り込みを行い実現に向け整理していく。



冬晴れのうらの森

る。これをふまえた当市の基本的な考え方を伺う。

答弁 第2期阿賀野市子ども・子育て支援事業計画において、同プランの方針に沿った事業を目標としており、課題も多岐にわたる。それぞれの事業の利用者ニーズや社会情勢を見極め、一体的運営を検討するなど状況に応じ適切に対応していく。



一般質問



新風あがの
遠藤 孝

阿賀野市総合計画について

質問 阿賀野市総合計画の基本計画は、基本構想を踏まえ「元気で明るく活力のある魅力的なまち」を目標に、5つの政策を柱に据えた7つの政策が設定されている。行政経営の推進について「効率的、効果的な行政運営が行われていると感じる市民の割合」が令和元年度は45・9%。令和2年度3年度の指標は向上したのか伺う。

答弁 阿賀野市総合計画の基本計画では、7つの政策を実現するための施策およびその下の基本事業ごとに「目指す姿」と「成果指標」を設け、行政の「見える化」をしている。「まちづくり報告書」として成果を公表し、議会、市民の皆様とまちづくり達成状況を共有している。令和2年度の割合は45・8%で令和元年度とほぼ同じ数字であった。令和3年度については集計中。



無会派
天野 市栄

県立阿賀野高校の現状と課題について

質問 市内唯一の県立高校である阿賀野高校への入学者が年々減少している。令和2年度から「地域探求コース」と「教養コース」に分けた総合選択制コースを導入したが、入学者の減少は止まらない。同校への入学者の8割は市内中学校（4校）の卒業生であるが、市内中学校から同校に進学する生徒は1割程度に減少。一方で市外、特に新発田市内の公立・私立高校に進学する生徒が増加。①同校に対する現状認識と現状打開のための方策、②同校卒業生の就職先を

果指標」を設け、行政の「見える化」をしている。「まちづくり報告書」として成果を公表し、議会、市民の皆様とまちづくり達成状況を共有している。令和2年度の割合は45・8%で令和元年度とほぼ同じ数字であった。令和3年度については集計中。

質問 基本事業「成果重視の行政経営の推進」の目標で事務事業の割合が16・2%（令和元年度）。現時点での向上割合はどうか伺う。

答弁 令和2年度は10・1%。根幹であるPDCAサイクルの確立を目指し、成果向上した事務事業の割合を用いて実績値の指標とし、コロナ収束後の指標値を目標値に近づけるように取り組む。

質問 「行政評価と予算決算が連動していると感じる職員の割合」が48・4%。現在ではどう

確保するため、雇用吸収力の高い製造業の工場誘致について伺う。

答弁 ①議員が指摘する状況にあると認識している。同校の魅力伝えるポスターやリーフレットの配布、進路指導や進学説明会で配慮している。②県営東部産業団地をPRし雇用創出に向けた活動を継続していく。



県立阿賀野高校

か伺う。

答弁 令和2年度は5・9%向上にある。

質問 「公共施設等のマネジメントの推進」で、公共建築物の保有量の削減を図っていく要因なることを伺いたい。

答弁 人口減少や少子高齢化による財政規模の縮減と保有量の適正化、長寿命化を図っていくこと。

意見 阿賀野市の未来を見据えた多目的かつ複合施設を望む。



県事業要望会の意義・目的と成果について

答弁 新発田地域振興局内にある地域整備部（土木部）及び農村整備部（農地部）の担当職員、地元選出の県議会議員を招集して行う県事業要望会（毎年8月開催）は、県の公共事業予算の優先確保に大きく寄与している。①意義・目的、成果、②要望箇所の選定手続き、③市議会一般質問で出された事業要望（例：国道460号中ノ通地内の歩道設置）の扱い、④阿賀野バイパス関連の県と市の事業調整、などについて伺う。

質問 ①観光振興・経済活動・救急医療体制の確保、市民の生命・財産の確保、農業振興に大きな成果あり。②、③自治会要望などを踏まえ事業化に向けて要望活動を継続、④県道新関水原停車場線と市道大野土橋線の事業調整は現在進行中。



無会派
遠藤 智子

学校図書館図書整備等5か年計画について

質問 文部科学省は、令和4年度から8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定し、全ての小中学校で図書館の充実を図りたいとしている。計画内容は●図書の整備、●新聞配備、●学校司書の配置で、費用は5か年総額2、400億円が交付税措置を講じるとしている。当市の現状と第6次計画に基づく今後の取組を伺う。

答弁 ●図書の整備について、図書の廃棄する手順を定めた学校図書廃棄事務処理を定めて適

切に処理している。学校図書館図書標準に定める蔵書冊数は11校で100%、水原中学校の680冊不足分のみ併設の市民図書室で補填できている。●新聞配備は、定期購入はないが学習指導要領で教材としての活用が位置づけられており、今後、学校と協議し進めたい。●学校司書の配置は現在ないが、学校図書館の運営、活用为中心的な役割を担う司書教諭を全小学校および水原中学校に配置している。



学校図書館は、子どもの言語能力、情報活用能力、問題解決能力、批判的吟味力等を育成する一端を担っており、利用の一層の促進を図る必要から学校司書の配置も含めて利用促進に資する方策を検討したい。

山口人形の常設展示を

質問 水原ふるさと農業歴史資料館に展示開催中の山口人形は、水原地区に古くから伝わり、現在、阿賀野市指定文化財であり、中でも三角だるまは、郷土伝統民芸品として年賀ハガキに採用されるなど全国にファンが見られる。今後の常設展示の検討を伺う。

答弁 山口人形の特別展示は、常設展示化を視野に入れた検証も兼ねて開催している。今後、特別展示の状況、来館者の動向を勘案し判断したい。

議会の情報は市ホームページをご覧ください

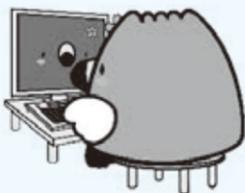
検索サイトから

阿賀野市議会

検索



本会議議事録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」

中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。視聴したいものを選んでクリック！



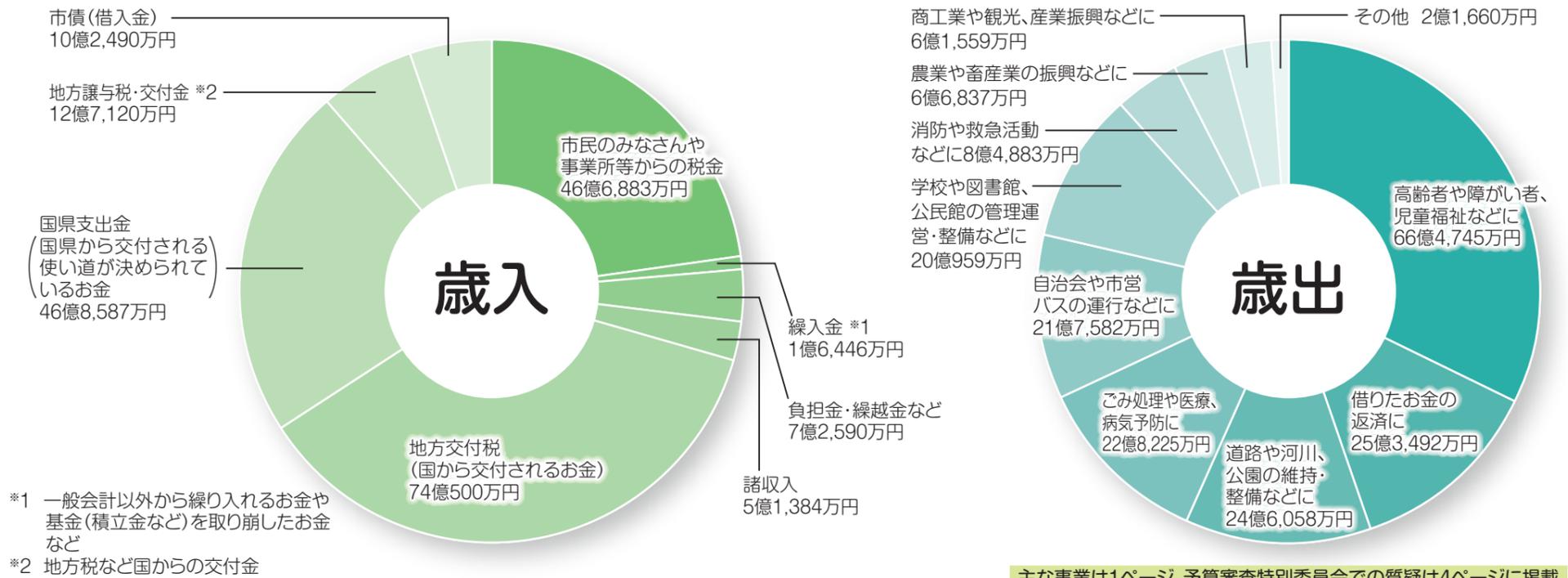
※スマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。

議案ピックアップ

議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。審議した中から令和4年度当初予算の内容をお知らせします。

令和4年度当初予算 一般会計予算は204億6千万円

元気で明るく活力のある魅力的なまちを具現化するために — ポストコロナを見据えた持続可能な日常へ —
 国の補正予算を最大限活用した令和3年度補正予算と一体的で切れ目のない予算



主な事業は1ページ、予算審査特別委員会での質疑は4ページに掲載

【令和4年度各会計の予算状況】

会計名	歳入歳出予算総額	前年度対比(伸率%)
一般会計	204億6,000万円	△0.9
国民健康保険特別会計	45億1,235万円	8.1
後期高齢者医療特別会計	8億6,233万4千円	1.7
介護保険特別会計	52億3,858万5千円	1.3
押切外四ヶ大字財産区特別会計	506万7千円	△5.5
少年自然の家特別会計	3,481万1千円	0.9

事業会計	収益的収入	資本的収入	収益的支出	資本的支出
水道事業会計	12億8,932万円	4億2,825万2千円	11億8,326万5千円	10億6,445万9千円
下水道事業会計	18億4,699万4千円	11億3,340万6千円	18億1,060万1千円	15億7,563万3千円
病院事業会計	4億2,011万円	2億2,900万9千円	7億5,016万3千円	2億9,417万円

次回6月定例会の予定

5月27日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
5月27日(金)	議会運営委員会(定例会の運営方針決定)
6月 7日(火)	本会議(議案上程、一般質問)
6月 8日(水)	本会議(一般質問)
6月 9日(木)	本会議(一般質問)
6月13日(月)	総務文教常任委員会
6月14日(火)	社会厚生常任委員会
6月15日(水)	産業建設常任委員会
6月17日(金)	本会議(委員長報告、採決)

阿賀野高校「キャリア教育」で文科大臣表彰を受賞

阿賀野高校では、地域住民や企業と連携・協働して地域課題の解決に取り組む学校設定科目や、自己の在り方・生き方についての自覚を深める総合的な探究の時間を通して、新しい価値を創造する力や郷土愛を育むキャリア教育を実践しており、「進路実現に役立った」という考えを持つ生徒が増加するとともに、地域活性化への貢献意欲が高まるなど生徒のキャリア発達の成果につながっています。

また、生徒が地域の大人と気軽に話や相談ができるスペースである居場所カフェを校内に設置。生徒に寄り添ったアドバイスを得ることが生徒の自己有用感を高めることや地域への愛着を持つことにつながっているなど、様々な取り組みが高く評価されました。

江川校長は、「これまで携わってこられた方々の尽力による成果であり感謝しています。これからも地域貢献できる人材を育成していくために、この流れをきちんとつないでいきたいと思っております。」と語られました。また、同校では企業と共同で開発した商品をオンラインショップで販売するという更なる取り組みを検討しているとのこと。益々の発展が期待されます。



企業とのコラボメニュー「阿賀のちゃんちゃんふりかけ」



市内の企業で研修

発行：阿賀野市議会
 編集：議会改革推進特別委員会
 広報広聴部会
 〒959-2092
 阿賀野市岡山町10番15号
 TEL：61-2489
 FAX：61-2067
 E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

お問い合わせは
 コチラから



次号は令和4年7月15日発行の予定です。

議会改革推進特別委員会広報広聴部会
 部長 松崎良繼
 副部長 近藤山修
 荒天清岡村遠近松
 澤野野部上藤山崎
 浩市栄直清智良繼
 和榮一史彦子修繼

広報広聴部会委員 清野 栄一

春爛漫、山笑う4月、皆様いかがお過ごしでしょうか。いつも市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。さて、今年も卒業式や入学式、新型コロナウイルスにより、制約を受けた式となり、一生に一度の記念すべきことなのに残念ですね。私も以前は末席を汚していましたが、式での子供たちの歌声、未来に続く清らかな歌声に感激していました。全てが今まで通りとはまだまだ行かないと思いますが、親しい人たちと春のやさしい風の中、野遊びでもしたいものです。「花の街」でもうたいながら…。

編集後記

